

令和7年度 新十津川農業高等学校 学校教育活動資料

本校の学校経営計画に沿って、本校教育活動をご説明いたします。

校 訓 「不撓不屈」 (昭和59年2月16日制定)

学校教育目標

- 1 基礎的・基本的な知識・技能に加え、農業や生活に関する専門性を養い、グローバルな視点を持って地域産業を担うことのできる生徒を育成する。
- 2 これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を身に付け、自己の能力を最大限に伸長させて、主体的に逞しく生きることのできる生徒を育成する。
- 3 豊かな心を養い、互いに磨きあい、他者と協力して自らの人生と社会の未来を創造するために、力を尽くすことのできる生徒を育成する。

指導上の重点事項

- 1 生徒の個性・能力に応じた指導をとおして、主体的に学ぶ意欲・態度の育成に努める。
- 2 基本的生活習慣を身に付けさせ、自ら律する規範意識の確立に努める。
- 3 他者を尊重し、思いやる心をとおして、自ら社会に貢献する態度の育成に努める。
- 4 学校農業クラブ、生徒会活動や部活動など課外活動の充実に努める。
- 5 キャリア教育を充実させ、社会の変化に対応できる、たくましく生きる力の育成に努める。
- 6 地域との連携を密にし、社会に開かれた教育課程の実現と地域に求められる人材の育成に努める。
- 7 教職員が効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革の推進に努める。

I 学習指導

- 1 わかる授業の実現を目指し、生徒の実態に即した学習指導の工夫・改善を行い、生徒が主体的に学習する態度の育成に努める。
- 2 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行い、基礎・基本となる知識や技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- 3 学習評価の改善・充実を図り、生徒の授業満足度の向上を図るとともに、学校と家庭の連携を密に取り、学習習慣の定着に努める。
- 4 校内研修を推進し、生徒一人一人の個に応じた学習指導の充実に努める。
- 5 学校農場、ＩＣＴ等を活用した学習指導の工夫・改善に努めるとともに、地域や関係機関・企業等との連携を図り、環境に配慮した農業教育など、時代の要請に対応した人材育成の推進に努める。

- (1) 基礎・基本を定着させる「わかる授業」づくりに努めるとともに、その活用のための思考力・判断力・表現力、社会をより良くするために学んだことを活用する意欲・態度を育てる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性・能力に応じた指導をとおして学習習慣を育て、生徒個々が主体的に学ぶ環境を整備する。
- ア BYODによる一人一台端末の導入（4年目）
イ 定期考査前および考査後の補習
ウ 各教科研究会への参加
- (3) 農業の学習をとおして、専門的な知識、技術、資質、持続可能な社会をつくる態度と倫理観を身に付けさせ、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
- ア 実習時間を確保することで、知識を具体的なものとして理解を深めるとともに、実際に役立つ技術や能力を高めた。
イ 生産物を活用した販売活動を実施し、責任感やコミュニケーション力を高めるとともに、日々の学習や生産への意欲を高めた。
【校内】春のガーデニングフェア、収穫祭、冬の販売会
【町内】ふるさと祭り、新十津川町商工会にて生産物販売
【道内】花フェスタ札幌北海道農業高校生ガーデニングコンテスト2チーム出場
(Aチーム：準大賞・Bチーム：奨励賞)、農業高校収穫祭inイオン(3名参加)

6 農業クラブ活動

学校農業クラブ活動における主体的な研究活動をとおして、農業の専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

- (1) 農業クラブ各種大会
- 5月21日(水) 校内意見発表大会
6月12・13日 北北海道実績発表大会(幌加内)⇒Ⅲ類：加工専門分会(優秀賞)、
クラブ活動：農生会執行部(優秀賞)
6月26・27日 北北海道意見発表大会(旭川農業)⇒3名出場
7月3日(木) 校内技術競技大会
8月7・8日 全道技術競技大会(岩見沢農業)⇒農業鑑定競技 区分作物(最優秀賞、優秀賞2名)、農業情報処理競技(全道最優秀賞)、フラワーアレンジメント競技(北北海道連盟優秀賞)
8月20-22日 全道実績発表大会(遠別農業)⇒加工専門分会、農業クラブ執行部出場
10月22・23日 全国大会西関東大会(山梨県)⇒鑑定競技会(区分作物)1名出場
1月20日(火) 校内実績発表大会(予定)

(2) 令和7年度各専門分会とプロジェクト学習のテーマ

| 分 会 名 | 発 表 テ ー マ |
|-------------|--|
| 水 稲 専 門 分 会 | 持続可能な農業を目指して ～陸稻栽培5年目の挑戦 菌の力による陸稻栽培の研究～ |
| 加 工 専 門 分 会 | 地域課題への挑戦 ～地域の資源を活用したスイーツの開発～ |
| 野 菜 専 門 分 会 | クリーン農業技術を活用したメロン栽培を目指して |
| 園 芸 専 門 分 会 | 新農産花卉の更なる向上 |
| 食 物 専 門 分 会 | おいしさUP！ファミリー食堂 ～新十津川の恵みをたくさんの人々に～ |
| 農業と環境専門分会 | 作物栽培を通じてプロジェクト学習を学ぶ |

(3) BRIDGE構築事業

12月16日(火) 「Ezo探究」プロジェクト令和7年度「tan-fest in 空知管内」
水稻専門分会出場

II 生活指導

- 1 基本的生活習慣や授業規律を確立し、ルールやマナーを守る規範意識や基本的倫理観の育成に努める。
- 2 相談活動等を充実させ、生徒理解を基盤とし、多様な生徒の状況に応じた生徒指導の推進に努める。
- 3 「いじめ防止基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実に努めるとともに、トラブル発生時の適切な初期対応等に努める。
- 4 学校農業クラブ・生徒会等活動の活性化を促し、生徒が自主的かつ意欲的に取り組む態度の育成に努める。
- 5 学校・家庭・地域社会が密接に連携し、生徒の多様な行動変化に早期発見・早期対応し、問題行動の未然防止に努める。

(1) 基本的生活習慣を身に付けさせ、豊かな人間性を育てる。

- ・長期休業後の全校集会時に、身だしなみ指導（服装、頭髪等）を生徒指導部中心に全学年で実施。

・礼儀、身だしなみ「その場指導」と「声かけ指導」、朝の玄関指導の実施。

(2) 職員の共通理解に基づいた一貫した指導体制を確立する。

- ・日常の連携と情報交換。（学校、保護者、地域関係機関）

・HR指導等による啓蒙。

・定期的ないじめアンケートの実施、いじめは絶対に許されない指導。

- (3) 令和7年度いじめ認知件数
 - ・認知件数8件、うち解消6件、未解消2件（指導継続中）
- (4) 生徒の実態把握や保護者との情報交流をもとに生徒理解に努め、個々の適性を生かした指導に努める。
- (5) 入学前の中高連絡協議会での1年生の出身中学校担任等との会議（情報収集と連携）
- (6) HR・全教員による定期的な教育相談の実施
- (7) スクールカウンセラーの定期来校を継続実施。

III 進路指導

- 1 体系的・系統的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、生徒が主体的に進路選択、自己実現を図るよう支援に努める。
- 2 生徒一人一人の能力・適性を正しく捉え、進路実現に向けたガイダンス機能の充実に努める。
- 3 早期に進路目標を持たせ、各種資格取得等に積極的にチャレンジする態度の育成に努める。
- 4 学年毎の系統的な進路指導計画を作成し、個別面談を繰り返し行うなど、個に応じた進路指導の充実に努める。
- 5 地域社会や地域産業と密に連携し、地域の期待に応える産業人の育成に努める。

(1) 個に応じた進路指導

【1学年～3学年】

- ・進路希望調査（年3回）
- ・進路個人面談（随時）

【1学年】

- ・自己理解の促進と自己肯定感の醸成
- ・進路ガイダンス
- ・進路セミナー

【2学年】

- ・職業に関する知識の習得と適性の把握
- ・中空知合同企業説明会

【3年生】

- ・目標設定および実現に向けた社会生活に必要な力の養成
- ・企業説明会（地元就職応援フェア）
- ・積極的な企業見学の推進（受験希望先は必ず見学）
- ・夏季休業中も含めた履歴書作成、全教職員による面接練習、個別学習指導
- ・進路学習ノートによる個別指導
- ・各種奨学金申請手続き

(2) 保護者への情報提供

- ・保護者への的確な進路情報を提供し、進路決定に対して共通理解が図られるよう連携を強化する。
- ・担任と進路指導部にて保護者からの相談に応じる体制づくり。

(3) 資格取得や就業体験

資格取得や就業体験により社会的素養を身に付けさせ、望ましい勤労観と職業観を育むとともに、早期離職防止に向けた効果的な対策をすすめ、地域からの信頼を深める指導を展開する。

・資格取得の推進

【共通】農業技術検定、食品衛生責任者、文書処理能力検定、表計算

【農業コース】小型車両系建設機械運転特別教育、アーク溶接特別安全衛生教育、

【生活コース】介護職員初任者研修

【希望者】英語検定、簿記検定、危険物取扱者

6 インターンシップ

産業現場実習やインターンシップをとおして、農業の担い手や職業人の育成に必要な専門性の基礎基本を重視し、職業観と規範意識や倫理観及びコミュニケーション能力等に根ざした実践力を育む。

(1) 3学年 [5月12日(月)～16日(金)]

| | |
|-----|--|
| 実習先 | お菓子のほんだ、JAピンネ、マックスバリュ滝川店、コープさっぽろ滝川店 北海道運搬機 空知支店、ヘアクリエイトBUZZ、岡田菓子舗 |
|-----|--|

(2) 2学年 9月16日(火)～19日(金)

| | |
|-----|---|
| 実習先 | 一の坂保育所、滝川中央病院、パネトーネ、カーサシーザーズ1号館 レフボン滝川店、ヤマト運輸滝川営業所、あさひ町動物病院 株式会社エー・エル・ピー、フルールハピネスたきかわ、たきかわ農業協同組合 陸上自衛隊、グリーンパークしんとつかわ、三共舗道株式会社 ナイスケアすずかけ、ENEOSウイング新十津川TS、有限会社黒元商店 滝川市子ども発達支援センター、ほんだ菓子司滝川店、あかびら動物病院 つばさ保育園、メガネのシオジリ滝川本店、あかびら動物病院、空知中央病院 ハーブガーデン新十津川、日清医療食品（赤平市立病院）、砂川パークホテル 陽だまりの郷、かおる園、山根生花店、AGHトヨタ札幌滝川黄金店 ピンネ農業協同組合、ヴルストよしだ、喜代司製菓 |
|-----|---|

7 関係諸機関との情報交換

すべての生徒の進路実現を図るため、関係諸機関と積極的な情報交換を行い、効果的な進路指導に努める。

- (1) ハローワークとの連携
- (2) 各種進路相談会への積極的参加
- (3) 市町産業振興課との連携
- (4) 進学相談会への参加促進

【令和7年度進路決定状況】 (令和7年12月2日現在)

| | 就職 | | 進学 | | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|
| | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | |
| 決定 | 7 | 11 | 2 | 4 | 24 |
| 未決定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 7 | 11 | 2 | 4 | 24 |

(1) 進学先

- ・國學院大學北海道短期大学部
- ・北海道芸術デザイン専門学校
- ・北日本自動車大学校
- ・札幌看護医療専門学校
- ・札幌青葉鍼灸専門学校

(2) 就職先

- ・歌志内市役所
- ・雨竜町役場
- ・日清医療食品株式会社
- ・医療法人社団つづじ会 空知中央病院
- ・社会福祉法人明和会
- ・株式会社 ホリ
- ・空知单板工業株式会社
- ・不二建設株式会社
- ・株式会社 遠藤組
- ・大旺鋼球製造株式会社
- ・砂川ハイウェイオアシス株式会社
- ・株式会社 北菓楼
- ・株式会社 北海道クボタ
- ・岩見沢通運株式会社
- ・株式会社ハスコムモバイル
- ・株式会社 層雲閣
- ・有限会社やすらぎ（グループホームコスモス）
- ・野口観光ホテルプロフェッショナル学院

【過去3年の進路状況】

| 年度 | 進路希望 | 人数 | 合格内定者 | 決定率 | 備考 |
|---------------|------|----|-------|------|---------------|
| 令和6年度 (最終) | 進学 | 11 | 11 | 100% | 大学1、短大3、専門学校7 |
| | 就職 | 20 | 20 | 100% | 管内18、道内2 |
| | 計 | 31 | 31 | 100% | |
| 令和5年度 (最終) | 進学 | 1 | 1 | 100% | 専門学校1 |
| | 就職 | 10 | 9 | 90% | 管内9 |
| | 計 | 11 | 10 | 91% | |
| 令和4年度 (最終) | 進学 | 12 | 12 | 100% | 短大4、農大2、専門学校6 |
| | 就職 | 17 | 17 | 100% | 管内15、道内2 |
| | 計 | 29 | 29 | 100% | |

IV 健康安全指導

- 体力の向上や生活習慣の改善に向けた取組の充実を図り、生徒の健康の増進に努める。
- 関係機関と連携し、薬物乱用防止教育、性やネットトラブルに関する教育、交通安全、防犯・防災教育の充実を図り、自ら事件・事故等の危機から身を守る能力の育成に努める。
- 自然環境の保全及び教育環境の美化、地域の奉仕体験活動を積極的に取り入れ、情操教育の推進に努める。
- 緊急時や非常時における危機管理体制を確立し、生徒の安全確保に努める。
- 特別支援教育の理解、教師のカウンセリング能力の向上等を通して、特別な支援が必要な生徒に対する指導の充実に努める。

- (1) 保健だよりによる健康管理啓発活動

(2) 保護者宛文書による連絡・啓蒙（健康診断結果や等感染症予防について）

(3) 生徒保健委員会の活動

(4) 保健教室・講座の開催

 - ・学年ごとにテーマを設け、生涯を通じた健康の保持・増進に努める。

(5) 防災・防犯教育

災害及び危険発生時に安全かつ迅速に行動ができるよう、防災・防犯教育を行うとともに、安全を確保するための管理体制の整備に努める。

 - (1) 避難訓練（6月、10月）
 - (2) 防犯訓練（1月予定）

(6) 危機管理

危機管理意識を高め、安全管理の徹底及び安全教育の充実に努める。

 - (1) 緊急連絡メールサービスの継続（安心安全メール）
 - (2) 自動車運転免許取得説明会〔3年生徒対象に実施〕⇒保護者へは書面にて説明

Ⅴ 実習指導

- 自己教育力を高めるための基礎・基本の徹底と農業や生活に関する課題を発見し、自ら学び、主体的・協働的に取り組み、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 地域社会や産業に根付いた関連機関との連携による地域教育力の活用を推進し、専門的な知識や技術の向上を図る。
- 学習環境を整備し、基本的生活習慣やマナーを身につけ、職業人として地域の農業や産業、地域生活の課題を発見し主体的に取り組むためのプロジェクト学習、実験・実習の充実と指導の工夫を図る。
- 資格取得への積極的な取り組みとキャリア教育の充実による望ましい人生観、職業観、勤労観の育成を図る。
- みどりの食料システム戦略、スマート農業教育を学び、持続可能な農業生産と安全な農産物の生産・提供に努める態度を醸成する。

- (1) 限られた時間の中で、内容の精選による基礎基本の充実を図り、実習時間とプロジェクト活動の充実を図った。
- (2) 小学生との交流授業を実施（3年生：サツマイモ、5年生：水稻）。
- (3) 有機物の施用による土壌管理を基本とした環境に配慮した農場管理に努めている。
 - ・新十津川町有機農業推進協議会への加入
- (4) 地域社会との連携をとおして、自他の生命の尊重と自ら社会に貢献する心と態度を育てる。
 - ・新十津川駅跡地さくら公園、空知中央病院、かぜのびの植栽（全学年）
 - ・滝川大通り商店街の植栽（2年農業コース）
- (5) 地域に根ざしたプロジェクト活動
地域の農業課題や特産物に着目したプロジェクト活動を展開。地域農業を支える人材育成とともに地域を考える視点を持つ社会人の育成を目指した。
- (6) 給食センターへの食材提供
給食センターの地元食材利用促進に協力するため、また、生徒にとって実感できる生産物の活用先として、給食センターに季節に応じた食材を提供した。

6 指導内容の充実

資格取得への積極的な取組やプロジェクト学習の充実により科学的・合理的な農業経営感覚の醸成を図り、農業及び農業関連産業に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

- (1) コンテスト等への応募
 - ・全国高校生農業アクション大賞（支援対象校選出）
 - ・みどり戦略学生チャレンジ参加
 - ・北海道米のスイーツコンテスト2025出品
 - ・日本一おいしい米コンテスト出品
 - ・令和7年度米袋デザイン甲子園出品

(2) 地域イベント等参加状況】

| 実施日 | 場 所 | 内 容 | 対象／実施者 |
|-----------|------------|--------------------|-------------|
| 5月20日(火) | 旧駅舎・中央病院周辺 | 花壇植栽ボランティア | 全校生徒 |
| 5月23日(金) | 滝川大通商店街 | 花壇植栽ボランティア | 農業コース2学年 |
| 5月26日(月) | 本校実習田 | 新十津川小学校田植体験学習 | 美里ネット新十津川後援 |
| 6月9日(月) | 本校園場 | 新十津川小学校農業体験学習 | 農業コース2学年 |
| 7月27日(日) | ふるさと公園 | 農産物販売、調査活動 | 各専門分会 |
| 9月12日(金) | 本校実習田 | 新十津川小学校稻刈り体験学習 | 美里ネット新十津川後援 |
| 9月24日(水) | 本校 | 新十津川中学校2学年交流学習 | 各専門分会 |
| 9月30日(火) | 本校園場 | 新十津川小学校サツマイモ収穫体験学習 | 農業コース2学年 |
| 10月17日(金) | 本校 | 中学生1日体験入学 | 各専門分会 |
| 11月6日(金) | 商工会館 | 商工会販売会 | 各専門分会 |
| 11月6日(木) | 本校 | 新農ファミリー食堂 | 食物専門分会 |

▽ 教育活動の説明と発信

家庭や地域からの学校理解を進め、開かれた教育活動を推進する。

1 各種情報の発信

- (1) 学校便り「不撓不屈」発行。
- (2) 学校ホームページの更新。
- (3) 広報しんとつかわ「農高通信」掲載

2 学校理解推進

- (1) 高校説明会（赤平中・歌志内学園・浦臼中・開西中・砂川中・明苑中）
- (2) 報道機関との連携（プレス空知、北海道新聞、NHK等）
- (3) 1日体験入学開催（10月17日 中学生70名 教諭7名 保護者22名参加）